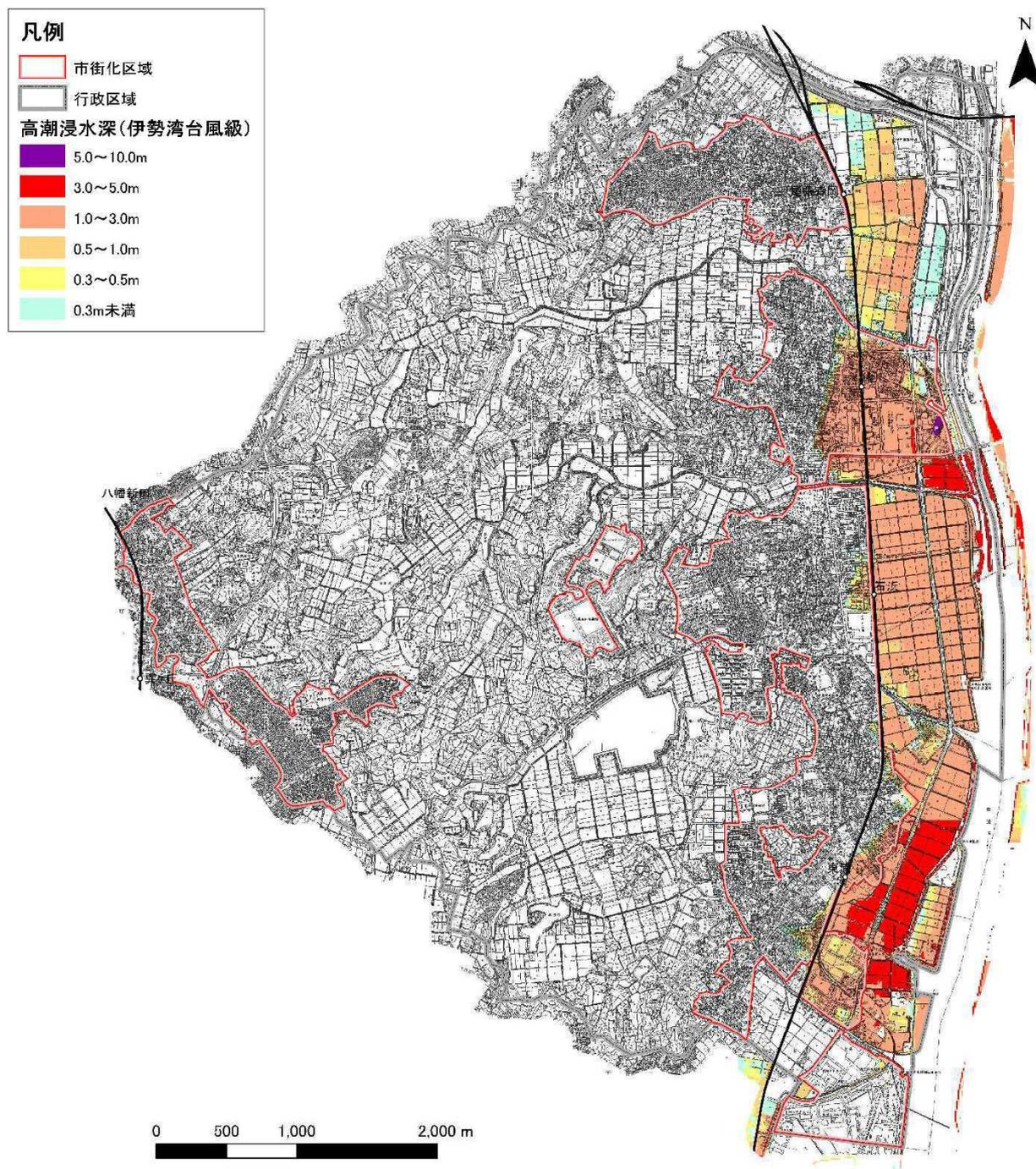


(参考) 高潮浸水想定区域 (伊勢湾台風規模)

町東部の市街化調整区域を中心に浸水想定区域がみられ、鉄道の西側まで浸水想定区域が広がっている地域もありますが、室戸台風規模の高潮浸水想定区域と比較するとその範囲は一部にとどまっています。また、垂直避難が困難な浸水深 3.0m以上の浸水は市街化区域ではほとんどみられません。

図 高潮浸水想定区域 (伊勢湾台風規模)



※伊勢湾台風規模(50~150年に一度の確率)による浸水

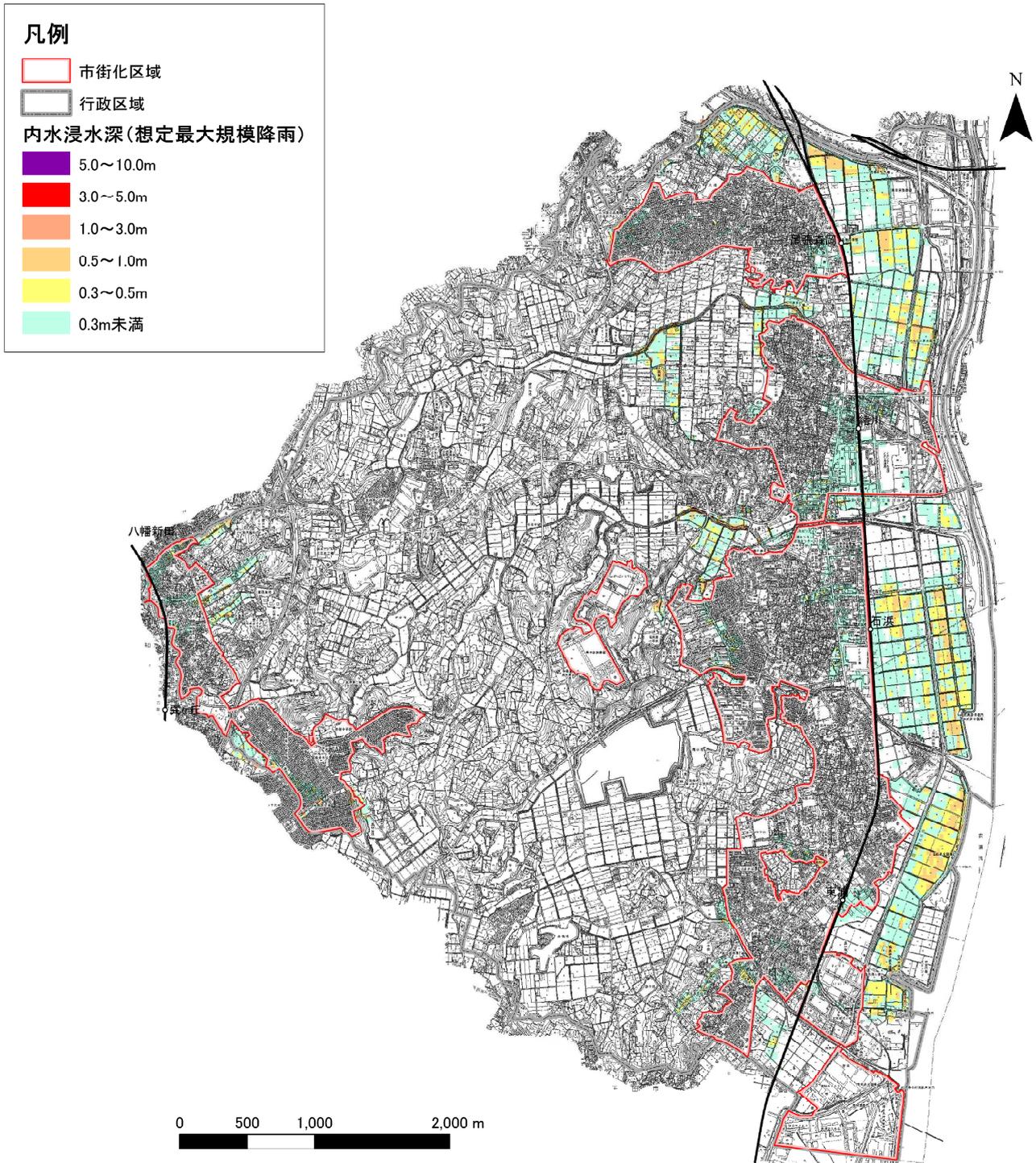
※中心気圧 940hPa で、高潮偏差が最大となる代表台風コースを通り、海岸堤防等の構造物については、決壊しない条件でシミュレーション

【資料:愛知県資料】

(参考) 内水浸水想定区域 (想定最大規模)

町東部の市街化調整区域を中心に浸水想定区域がみられますが、市街化区域の一部においても浸水深 0.3m未滿の浸水が想定される箇所が多く分布しています。

図 内水浸水想定区域 (想定最大規模)



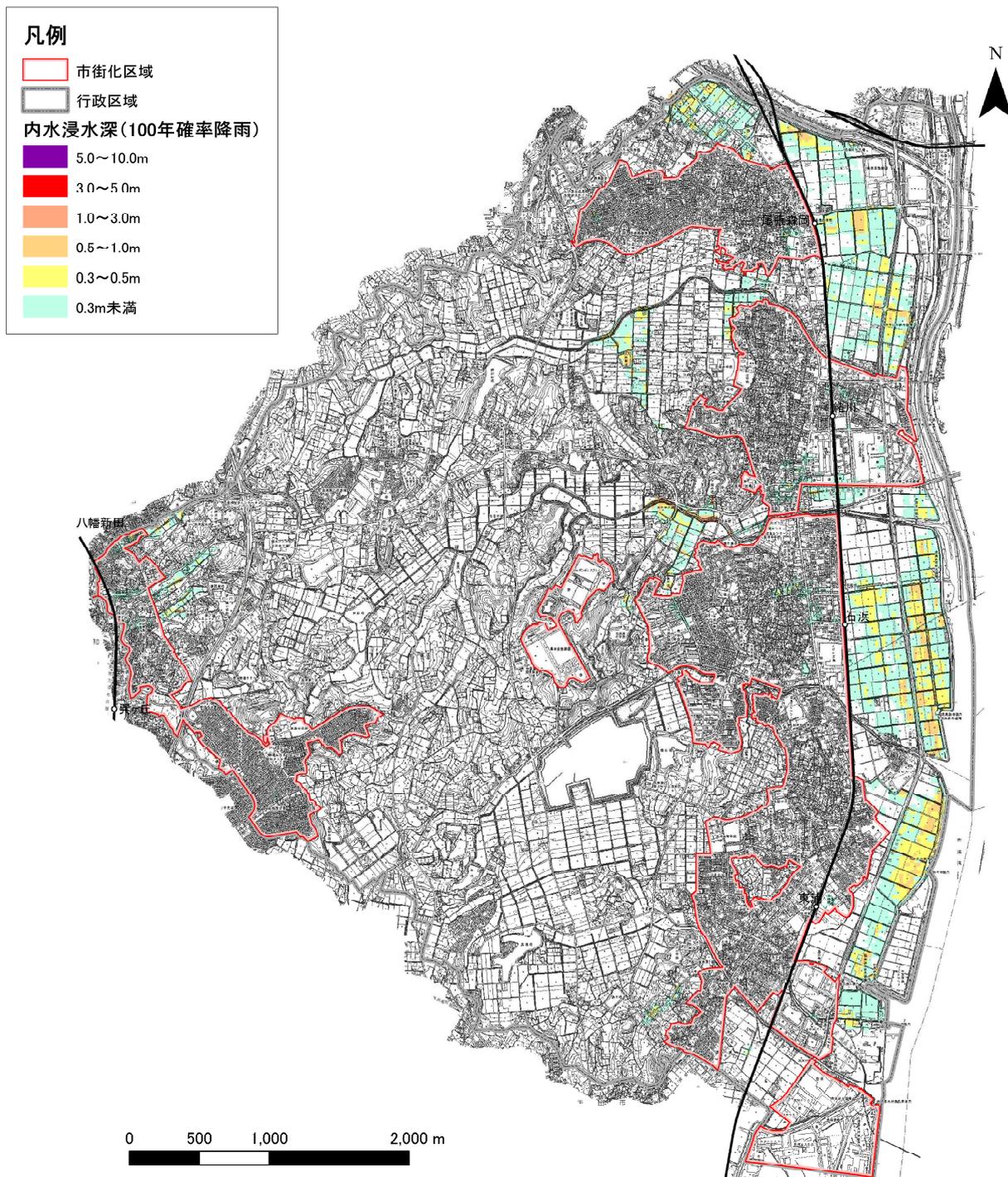
※想定し得る最大規模の降雨(千年に一度の確率)
 ※出典:東浦町上下水道課によるシミュレーション結果

【資料:町資料】

(参考) 内水浸水想定区域 (100年に一度の確率の降雨)

町東部の市街化調整区域を中心に浸水想定区域がみられますが、市街化区域の一部においても浸水深0.3m未満の浸水が想定される箇所が分布しています。

図 内水浸水想定区域 (100年に一度の確率の降雨)



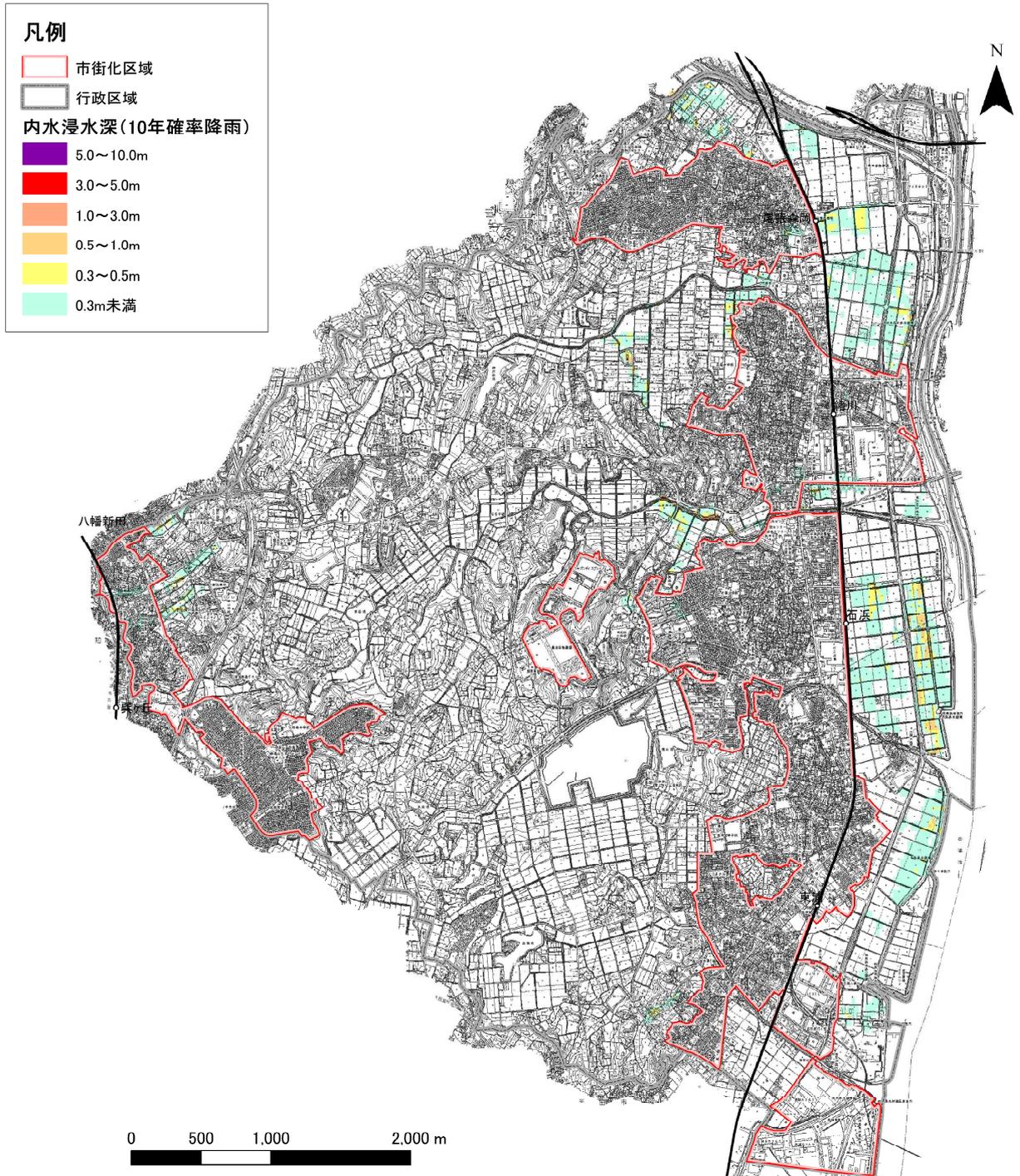
※100年に一度の確率の降雨
 ※出典:東浦町上下水道課によるシミュレーション結果

【資料:町資料】

(参考) 内水浸水想定区域 (10年に一度の確率の降雨)

町東部の市街化調整区域に浸水想定区域がみられますが、市街化区域において浸水が想定される箇所はほとんどみられません。

図 内水浸水想定区域 (10年に一度の確率の降雨)



※10年に一度の確率の降雨

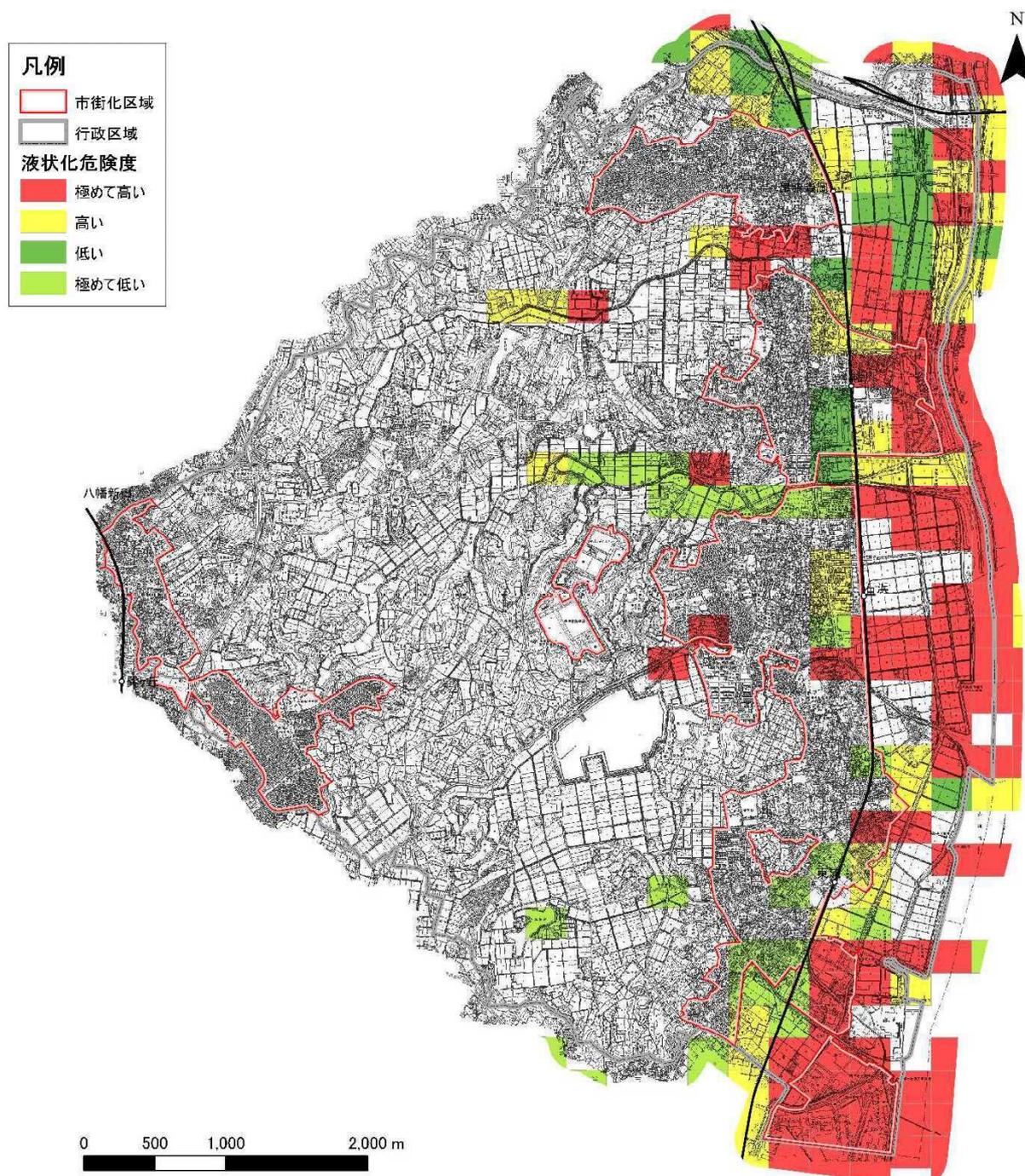
※出典:東浦町上下水道課によるシミュレーション結果

【資料:町資料】

(参考) 液状化危険度

境川沿いの地域やその他の小河川沿いの地域で液状化が発生する可能性が高いと予想されています。特に境川周辺では液状化危険度が極めて高い地域が広範囲に広がっています。

図 液状化（南海トラフ地震陸側ケース）



※「愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測(平成 26(2014)年5月30日)」による予測結果

【資料: 愛知県資料】

■本町における災害ハザードのまとめ

以下に本町における災害ハザードについて整理します。

土砂災害

- 土砂災害特別警戒区域・土砂災害警戒区域及び急傾斜地崩壊危険区域は、町東部の市街化調整区域に分布する傾向にありますが、市街化区域の一部でも見られ、また、住宅も立地しています。
- 大規模盛土造成地は、本町全域に分布しており、市街化区域の住宅団地においてもみられるため、その危険性を今後調査することとなっています。

水害

- 発生頻度が高い（L1）災害ハザード（洪水：計画規模、高潮：伊勢湾台風級）については、2階以上への垂直避難が困難となる浸水深 3.0m以上の浸水はほとんどみられず、浸水想定区域も想定最大規模と比較すると限定的となっています。
- 発生頻度が低い（L2）災害ハザードについては、洪水及び高潮による浸水が町東部の広い範囲で想定され、高潮については浸水深も2階以上への垂直避難が困難となる浸水深 3.0m以上の箇所がみられ、事前の避難行動が必要な状況となっています。

(2) 災害ハザードが想定されている地域の抽出

災害ハザードの整理を踏まえ、市街化区域内において土砂災害が想定される地区及び想定最大規模(L2)の水災害が想定される区域を抽出することとし、浸水想定区域が町東部の南北に広範囲に広がっていることから、町内を流れる河川により区分します。これにより下図の5地区を災害ハザードが想定されている地域として抽出します。

図 災害ハザードの重ね合わせ図

